



令和8年3月1日現在	
総世帯数	2,027世帯
総人口	4,055人
男	1,935人
女	2,120人

伝統行事 三九郎を受け継ぐ

冬の風物詩であり、子どもたちの伝統行事である「三九郎」が、今年も無事行われました。第三地区では、1月10日(土)に、蚕糸記念公園グラウンドで4町会3基、薄川河川敷で3町会3基、11日(日)に、薄川河川敷で3町会3基と合計10町会で9基のやぐらが立ち、子どもたちの歓声とともに、だるまや注連縄、松飾りが燃やされ、無病息災や五穀豊穡を願います。

この炎や煙にはけがれを清める力があるとされ、柳の枝にさされた繭玉やマシユマロ、中にはウインナーソーセージなどにも食べる姿がありました。

今年の元日から、「林野火災注意報」の運用が開始されました。降水が見込まれる、または積雪があるという条件でない限り、前日までの降雨量によっては林野火災注意報が発令され、当日の朝になって三九郎の中止



が求められるかもしれないという事態となりました。このため、各町会ではこの条例への対応が急遽求められ、役員さんをはじめ多くの皆さんが祈るような気持ちで朝を迎えました。

当日は、時折強く吹く風に最大限の注意を払い、松本市消防団三分団の皆様の全面的なご協力もあり、無事全部のやぐらを燃やすことができました。今年も、計画した三九郎がすべてできたわけですが、来年度からの実施について、条例遵守の観点から先行き不透明な面も残りました。しかしながら、伝統行事である「三九郎」を、なんとかみんなの知恵で受け継いでいきたいと思えます。

(子ども会育成会わかばの会
会長 柳澤 厚志)

あがたの森通りが生まれ変わります

皆さんもご存じのとおり、松本秀峰中等教育学校前交差点からあがたの森公園交差点までの拡幅工事がようやく終了しました。これにより、松本駅からあがたの森までの『あがたの森通り』は、昭和7年(1932年)に幅員22メートルの都市計画街路として認可されて以来約90年の歳月を経て、令和7年度(2025年度)に



全線の整備が完了となりました。しかし、松本市の玄関口となる駅前目の目抜き通りでありながら、歩きやすく快適で居心地の良い道路にはまだなっており、この機に緑化も含め、全線を見直すべく、昨年度から多くの市民を巻き込んだワークショップが開催されてきました。第三地区からも町会連合会やまちづくり協議会などのメン

バーが参加し、この通りに面する町会や店舗の関係者、まちづくりに関わる方々、造園業者や高校生なども参加して、全5回のワークショップを経て、ようやく再整備計画の案が出来上がりました。

現状は、歩く人や自転車にとっては決して快適とは言えず、全線に統一感がなく、夏場は日陰もなく、ベンチ等の休憩場所もないなど、多くの課題が挙がる中で、美ヶ原や北アルプスを望め、眺めも良いなど沢山の魅力も挙がっていました。これを踏まえ、

- ・より安全で快適な道づくり
 - ・居心地の良い道端づくり
 - ・水と緑を感じる道づくり
 - ・芸術・文化が薫る道づくり
- の4つのテーマを設定し、計画案がまとまりました。この計画は、行政だけに任せる道づくりではなく、幅広い住民と一緒につくっていくことを大切にしていきます。皆さんも興味を持って期待しながら、再整備の進捗状況を見守っていただけたらと思います。また何か新しい情報が入りましたら、皆さんにお知らせしていきたいと思えます。
- (降旗 都子)

ワークショップの詳細はこちらを参照してください。



中学生になったら

4月から中学生になる
2名の児童に、抱負を
伺いました。



◆源池小学校 六年

村澤 玲奈

私は、中学生になったら頑張りたいことが二つあります。まず一つ目は、勉強です。私は勉強をしないといけないと分かっているのに、ついめんどくさいと後回しにしてしまいます。中学生になったら後回しにせずしっかりと勉強していきたいです。

二つ目は、部活を頑張りたいです。私は吹奏楽部でトランペットを吹きたいです。理由は、小学校の金管バンドでトランペットを吹いて、音がパリッとしていてすごくきれいな音で、もつとやりたいと思ったからです。中学校ではもつとたくさん練習をして、たくさんさんのステージで多くの人に感動してもらえようような演奏をしたいです。

私は、中学生になったらこの二つの目標を達成できるように、日々努力したいです。

◆清水小学校 六年

常川 琳功

僕は、小学校の六年間をおもいっきり楽しく過ごしてきました。しかし、優先順位を考えずに、今やりたいことだけをやってしまうことも多かったです。そうなるといつも、あとから大変な目にあっていました。

中学校では、宿題が多くなると聞きました。僕は陸上や友達と遊ぶことなどやりたいことがたくさんあります。優先順位を考えないと、宿題をやり忘れてしまいます。そうになると、それが癖になって、大人になってもその癖が抜けなくなりそうです。そうならないように、中学生になったら、優先順位を考えて、それを守って行動できるようにしたいです。そして、それを続けられるように、僕なりの努力をしていきたいです。



本格インドカレーづくり講座

3月1日(日)、文化委員会主催の「本格インドカレーづくり講座」が開催されました。裏町にあるDONN食堂 印度山の店主アシシユさんに講師をお願いしスパイスから作る本格的なインドカレーづくりを体験しました。昨年5月にチキンカレーを作る講座を開催した際に、「次はキーマカレーを作りたい!」という声を多くいただいたことから、第2弾として今回の開催が決まりました。前回同様、第三地区内外から大勢の方に参加いただき、料理を通じた文化学習の良い機会となりました。



●参加者の感想●

- ・日本でカレーと言っているものとは全く違い、スパイスの種類が豊富で味や香りがとても良かった。
- ・とても楽しく美味しい講座でした。
- ・地域の方と交流ができ嬉しかったです。
- ・各班で味の仕上がりに違いがあったのも面白かったです。
- ・来年も開催してください!
- ・I appreciated that the teacher came over & explained everything to me in English. (アメリカ人留学生)

湧き水

先日、あるサークルの会報で、「人のふり見て…」という記事を見て同感するものがあり、自分の思いと照らし合わせてみた。

同じ内容でも表現の仕方によって、相手に与える印象が大きく変わってしまうとの内容。「〇〇はあとのどのくらい残っているの?」という問いに「〇〇残っています」と答える場合と「〇〇しか残っていません」と答えるのでは、個数は同じでもニュアンスが異なる。

また、場合によっては、たった一文字で意味合いが変わることとも。身近な例では、イベントに「A君が出るの?」と「A君も出るの?」というのでは戸惑いも生じる。

質問時に「〇〇すれば〇〇できます」と伝える場合と「〇〇しなければできません」とでは受ける方でも戸惑い。

私の性格は、基本的には「ケセラセラ」「どうにかなる」と楽観的。明日締切りの回答も、青くなって今日中に仕上げることは無く、明日できることは明日にとの行動。明日の夕方まで1日あるさとの思い。

自分の良かれと思っている発言で、もしかしたら相手に誤解を与えているかなとの反省も。

(上條 恒嗣)